

令和5年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	こしお あつし	
氏名	小塩 篤史	
所属・役職	東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 特任准教授 株式会社 HYPER CUBE 取締役	
活動拠点	東京、兵庫	
略歴	2005 年 東京大学大学院新領域創成科学研究科 修士課程修了 2008 年 東京大学新領域創成科学研究科 博士課程 単位取得退学 2008 年 米国マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院 客員研究員 2009 年 東京大学政策ビジョン研究センター 特任研究員 2011 年 日本医科大学医療管理学教室 助教 2014 年 事業構想大学院大学 准教授 2015 年 カタリスト合同会社 代表社員 2016 年 事業構想大学院大学 教授・研究科長 2017 年 株式会社 IF 代表取締役 2018 年 事業構想大学院大学 客員教授 2018 年 アジア開発銀行 高度技術推進ファンド AI 分野コンサルタント 2019 年 株式会社 I Cube 代表取締役 2019 年 株式会社 HYPERCUBE チーフイノベーションオフィサー 2019 年 神戸情報大学院大学 客員教授 2021 年 東京大学空間情報科学研究センター 特任准教授 2021 年 麗澤大学 EdTech 研究センター センター長／特任教授	
地域情報化の 専門分野・技術	データサイエンス・人工知能（機械学習・集合知） 未来予測シミュレーション IoT や AI を含んだ最適システムのデザイン 地理空間情報 医療情報解析 起業支援	
専門分野	EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI活用 人材（DX推進のための 機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 教育情報化／情報 教育 医療・介護・健康 スタートアップ支援（起業支援） スマートシティ	
自治体向けメッセージ	特にヘルスケア領域を中心に、データサイエンス・人工知能を活用したプロ ジェクトを数多く実施してきました。その中で、地域づくりの重要性を切実 に感じており、地域の個性をいかしたまちづくりをデジタル技術がどのよ	

		うに貢献可能か日々考えております。新しいスマートシティ・スマートタウンのあり方を皆様と共創したいと思っております。
	関連サイト	https://www.reitaku-u.ac.jp/about/teachers/1775898/ http://hyper-cube.co.jp/
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<p>データサイエンス/AI・システムデザイン・教育等の観点から様々なプロジェクトや研究活動を実施している。</p> <p>(1) データサイエンス・人工知能 データサイエンスをベースに、地域の高齢化を予測する未来予測シミュレーターを開発し、自治体に活用いただいている。また、福島県・滋賀県において医療レセプトデータの分析もおこなっており、データ連携やビッグデータ解析の経験も豊富である。現在は、人工知能とIoTを組み合わせた知的IoTという概念を中心に、農業や漁業、まちづくりのデジタル化スマート化に取り組んでいる。</p> <p>(2) システムデザイン システム設計の観点からは、地域を横ぐしする地域PHRの構築や履歴管理システムなどを開発してきた。地域の全体最適をデザインするためのシステムデザインを目指して、電子カルテや地域情報システムの開発もおこなっている。</p> <p>(3) 教育 総務省でのG空間人材育成事業や各地の大学における技術経営に関する講義を通じて、地域の情報化の基盤となる人材育成に取り組んでいる。</p>
	これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト	<p>文部科学省 医療分野における電子タグ利活用実証実験 盛岡赤十字病院における血液製剤の履歴管理 2009 年度 地域包括ケア支援・推進・評価するための情報・ケアネットワーク構築に資する調査研究事業（地域PHR構築のためのプロトタイプ構築） 2012 年度 文部科学省 バックキャストによる地域ケア事業構想のための基盤構築に係る研究 2014, 2015 年度 総務省 G 空間情報×宇宙技術利活用ビジネスコンテスト 審査委員長 2018 年度 総務省 GeoHackers Program 基調講演 2019 年度</p>